

タンク内の水抜き方法

※作業を行う前に、水抜き口下部に受け皿を用意してから作業して下さい。

【S(ストレーナー)仕様】



水抜き(ドレン)バルブ

●水抜きバルブを戻すと水が抜けます。バルブを全部抜き取ると大量に水や油が出ます。注意して下さい。

●水抜きが終わったらバルブを確実に締めて下さい。

【VH(バルブホース)仕様】



水抜き(ドレン)ビス

●+ドライバーで戻すと水が抜けます。

ビスを全部抜き取ると大量に水や油が出ます。注意して下さい。※一部機種によって、仕様が異なります。

●水抜きが終わったらビスを確実に締めて下さい。

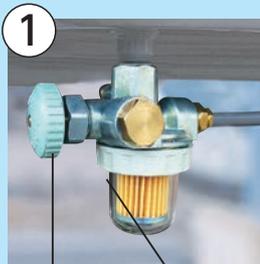


油
水と油の分離面
水

※本画像は分離面を分かりやすくする為、水に着色をしています。

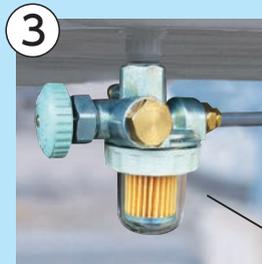
水抜き後の受け皿には少量の油が入っています。そのまま捨てずに中性洗剤で中和し、新聞紙等に吸収させてから捨てて下さい。

ストレーナー内に水が入った場合



ハンドル 締付けナット

1 燃焼器具の運転を止める。ストレーナー部の下に受け皿を置いてください。ハンドルを締め、締付けナットを回してカップを外す。



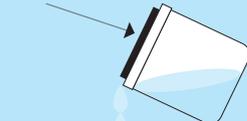
3 元の状態に組み立てし締付けナットを少し緩めてハンドルを回しカップ内の空気を抜きます。

少し油が出る程度まで、空気を抜く



2 カップ内の水を受け皿に捨てて下さい。Oリングは外さないで下さい。

2 カップ内の水を受け皿に捨てて下さい。Oリングは外さないで下さい。



カップ



4 締付けナットを確実に締めハンドルを全開にして下さい。

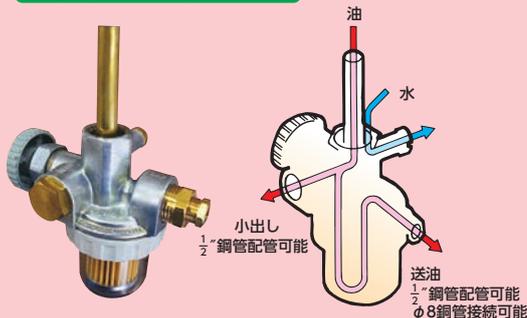
溢れた油は完全に拭き取って下さい。

フィルター・樹脂カップ・Oリングは消耗品ですので必要に応じて交換して下さい。

多機能ストレーナー

- 送油、小出し、水抜き、各機能を集約3ウェイタイプ
- 施工が簡単(タンク底面部品3コが1コに…当社比)
- バルブを閉じて後付け小出し配管可能

3ウェイストレーナー



小出し

1/2 鋼管配管可能

送油
1/2 鋼管配管可能
φ8鋼管接続可能

ストレーナー・バルブ流量表

タンク(型式)	用途	送油(ℓ/min)	小出し(ℓ/min)
25	配管・ゴムホース	0.5	—
50~90	配管・ゴムホース	0.5	—
95	配管仕様(NS)	0.5	—
95	小出し仕様(NV)	—	12.2
95	小出しガン付(NVG)	—	5
95	配管・小出し(D・Fセットオプション)	2.8	6.6
150~490	配管仕様(S)	2.8	—
150~490	小出し仕様(VH)	—	14
150~490	配管・小出し(D・Fセットオプション)	2.8	6.6
150~490	配管・小出しミニガン付(オプション)	2.8	4

●流量値にはオイルストレーナー取付位置より油面高さ350mmからの流出量を測定した結果になります。

●流体はJIS号灯油、A重油で流量値はほぼ同じになります。

●取付条件により流量値は多少異なります。